

3. 「化学療法」について

1. 化学療法

化学療法とは腫瘍を攻撃する薬剤を用いる治療法のことです。薬剤の種類は病気の種類や腫瘍の発生した場所によって異なります。投与方法は、内服・点滴・動注等の方法があり、薬剤の種類、投与量及び投与期間は患者により異なります。

局所にとどまっていると考えられる早期のがん病巣であっても、極小さながん細胞が血流・リンパ流にのって全身のどこかにとんで潜んでいる可能性があり、長い時間をかけておおきくなり転移として見つかるため、全身に係わる病気として考えられています。抗がん剤は投与後血液中に入り、全身を巡って体内の細胞を攻撃するため全身的な効果があります。しかし増殖する腫瘍細胞を攻撃する効果がある反面、健康な細胞に対しても薬剤が影響を及ぼす副作用（悪心・嘔吐・骨髄抑制など）が起きる場合があります。副作用に対しては薬や対処方法・予防方法などがあるので、症状の軽減を図れるようになっています。

2. 化学療法の目的

がん化学療法の最大の目的は、患者様の生命を保つことですが、場合によってはがんの増殖を遅らせること、がんによる症状を緩和すること、全身状態の改善などを目的とすることがあります。いろいろな治療法がありますが、どの治療法にも適応と限界があり、全てに有効という治療法はまだありません。また一つの治療方法では効果が弱いと考えられる場合には、いくつかの治療方法を組み合わせてする場合もあります。

3. 外来化学療法

外来化学療法とは患者様が入院をせずに通院で抗がん剤治療を行うことです。副作用にたいしては有効な支持療法の確率、副作用の少ない抗がん剤により化学療法を外来で行うことが可能となりました。

4. 外来化学療法室のご案内



「外来化学療法室」は通院しながら点滴治療を受けられる方のお部屋で予約制になっています。治療時間を少しでも快適に過ごしていただけるよう配慮しています。

- 専従の看護師がいます。
- 医師からオーダーされた薬は、薬局のクリーンルームで調合する薬剤師の部屋があります。
- ベッドは4床、リクライニングチェアは2台設置されており、アコーディオンカーテンで仕切られプライバシーを保っています。
- 室内に、洋式トイレも備えております。
- 点滴中は、腕をきつく曲げたり、激しく動かしたりすることは出来ませんが、読書や食事は可能です。

